

令和 7 年 度 事業 報 告 書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、第 4 期地域福祉実践計画（令和 2 年度～6 年度）の 5 ヶ年の進捗状況の成果・課題を検証し、培ってきた地域福祉の基盤を継承・発展させた具体的な活動方針・行動計画である「第 5 期地域福祉実践計画（令和 7 年度～11 年度）」を策定しました。

令和 7 年度は、計画の 1 年目として、「みんなで支えあう福祉の地域づくり」の実現を目指し、身近な地域での生活支援やボランティア活動など様々な福祉課題に対応する事業活動に取り組んでまいりました。

特に、生活困窮者自立支援事業では、就労相談体制の拡充にあたり、江別市が開設した「ワークサポートえべつ」と連携し相談支援に取り組むとともに、緊急的に生活の場を提供する居住支援事業を新たに受託しました。成年後見支援事業では、市民後見人養成講座を開催し受任体制の強化を図りました。

また、生活支援体制整備事業では、通いの場までの移動支援モデル事業の検討を進めました。地域活動支援においては、除雪サービス関連事業の見直しや、地域交流の集い活動（愛のふれあい交流事業）での借上バス等費用の助成金額を拡充しました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

目 次		
基本計画 1	地域福祉に関する情報提供	1
基本計画 2	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	2
基本計画 3	ボランティア活動で進める地域支援	5
基本計画 4	包括的な相談・支援事業の実施	8
基本計画 5	安心した生活を支援する福祉サービスの実施	12
基本計画 6	学びの機会の提供による福祉意識の醸成	15
基本計画 7	地域に信頼される社協運営	16
★会務の運営、基本計画以外の主な活動		21

基本計画1 地域福祉に関する情報提供

市民が各種福祉サービス等の必要な情報を入手できるよう、情報提供に努めました。

(1) 社協だより「幸せな社会」の発行（自主事業）

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、レイアウトを横書きに統一し、左開きにする等、読みやすく保存しやすい（綴りやすい）誌面づくりに努めたほか、拡大版を作成し公共施設などへの配架や、ボランティアセンター登録団体の点字ろくの会・まちの灯の協力を得て、誌面を点字・音声化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

(2) ホームページ等の運営（自主事業）

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新を行うとともに、背景色を明るくしホームページの視認性と利便性の向上に努めました。

(3) 社協事業活動の説明（自主事業）

- ・当協議会事業の説明を行いました。

令和7年11月11日（火） 北翔大学（就業力特別演習）

- ・民生委員児童委員地区会等に歳末見舞金品贈呈事業の説明を行いました。

令和7年9月19日（金） 野幌西地区民生委員児童委員地区会

令和7年9月30日（火） 民生委員児童委員全地区会（市内地区会希望委員）

- ・「2025年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

(4) 福祉サービスの適正化、苦情対応（自主事業）

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応や、関係機関と連絡調整を行うなど適切な対応に努めました。

基本計画2 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、日常の生活支援や交流活動を促進するとともに、市民・団体・企業等が福祉活動に参加できる機会の提供に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施（市補助事業）

様々な機会を利用して、活動事例を収集・紹介し、自治会担当者からの個別な相談への対応を通して、当事業への取り組みを働きかけました。

①愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地区	実施自治会数			対象世帯数			ボランティア延人数		
	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減
江別	13自治会	17自治会	△4自治会	316世帯	431世帯	△115世帯	509人	668人	△159人
野幌	27自治会	27自治会	0自治会	686世帯	693世帯	△7世帯	2,014人	1,967人	47人
大麻	22自治会	25自治会	△3自治会	440世帯	479世帯	△39世帯	724人	921人	△197人
計	62自治会	69自治会	△7自治会	1,442世帯	1,603世帯	△161世帯	3,247人	3,556人	△309人

②地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。また、借上バス等助成金の増額を実施し、参加しやすい環境づくりと交流機会の拡大を図りました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数			実施事業数		
	7年度	6年度	増 減	7年度	6年度	増 減
江 別	24自治会	24自治会	0自治会	82回	73回	9回
野 幌	29自治会	29自治会	0自治会	89回	95回	△6回
大 麻	28自治会	31自治会	△3自治会	95回	93回	2回
計	81自治会	84自治会	△3自治会	266回	261回	5回

(2) 生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

生活支援や介護予防の充実を図るため、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていく上での助言や、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

昨年度末から継続して、地域課題やこれまでの取り組みの整理を行い、令和7年度に生活支援体制整備事業として取り組む内容を可視化した活動計画を作成しました。

また、令和8年度から実施予定としている通いの場までの移動支援モデル事業の検討、市内高齢者がこれからも住み慣れた地域で生活ができるよう市内の配送可能店舗をまとめた「江別市内『便利帳』」の作成といった地域課題への対応を進めました。

その他、総合社会福祉センターロビーへの掲示や、社協広報誌にて市内で活動している通いの場の情報を掲載（シリーズ化）することを通じ、市内における活動例の周知に注力し、通いの場に参加したいという市民や関係団体からの問合せには、該当する通いの場の情報提供や見学の連絡調整によって対応しました。

【会議への参加】

第1層・2層生活支援コーディネーター会議、第1層協議体など 21回

【研修会等への参加】

事業展開に関する情報交換研修への出席など 13回

【関係機関との情報交換・情報収集・情報提供活動】

江別市の各部署、その他関連団体との情報交換など 112回

【地域活動への参加】

地域サロン、サークル等の通いの場見学・参加など 44回

【第2層生活支援コーディネーターとの協働】

情報交換、地域課題への対応、第2層協議体への参加など 45回

【問合せ対応】

個人・団体や事業所からの問合せ対応（通いの場参加希望者への情報提供、連絡調整、貸出物品利用申込みへの対応）など 56回

【学習会・出前講話等】

主催した市民向け学習会、講話依頼を受けての訪問など 1回

【その他】

広報活動、会議録・書類作成など 36回

（3）江別市共同募金委員会との協働（協力事業）

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

①赤い羽根共同募金運動への協力

令和7年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】

5,791,475円（前年度比333,577円減）

②歳末たすけあい運動への協力

令和7年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

【募金実績】

3,705,390円（前年度比74,630円減）

（4）江別ふれあい福祉の広場の開催（自主事業）

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

- ・開催日 令和7年7月20日（日）
- ・開催場所 総合社会福祉センター
- ・来場者数 約1,500人
- ・内 容 社会福祉功労者顕彰並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付式、ふれあいバザー、ふれあいピアガーデン、体験型福祉機器展示、点字・要約筆記体験、モルック体験、よさこい演舞 など

(5) 総合社会福祉センターの運営（市補助事業）

①福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設、並びに高齢者等が集う交流の場として運営しました。

【月別利用状況】

月	利 用 者 数			月	利 用 者 数		
	7 年度	6 年度	増 減		7 年度	6 年度	増 減
4	3,274 人	3,185 人	89 人	10	3,441 人	3,335 人	106 人
5	3,051 人	2,996 人	55 人	11	2,995 人	3,044 人	△ 49 人
6	3,301 人	3,268 人	33 人	12	2,748 人	2,790 人	△ 42 人
7	2,962 人	3,089 人	△127 人	1	2,352 人	2,427 人	△ 75 人
8	2,546 人	2,436 人	110 人	2	2,618 人	2,719 人	△ 101 人
9	3,184 人	3,371 人	△187 人	3	3,119 人	3,222 人	△ 103 人
計					35,591 人	35,882 人	△ 291 人
累 計（昭和57年度～令和7年度）					2,448,183 人		

②センター利用者から要望が多かった猛暑対策について下記の工事を実施し、利用環境の改善に努めました。

- ・会議室2号、会議室3号、会議室4号のエアコン設置工事

(6) 企業・団体の地域貢献活動への支援（自主事業）

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

【活動備品の貸出】

- ・テント 6施設 13団体
- ・机 8施設 11団体
- ・椅子 7施設 7団体

【社会貢献活動への協力】

- ・株式会社ダイナム【緊急支援用食料寄贈】
- ・角山開発株式会社【緊急支援用食料寄贈】
- ・北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社【福祉施設への清涼飲料水寄贈】
- ・カーブス野幌店、大麻駅前店【緊急支援用食料寄贈】
- ・江別グリーンライオンズクラブ【緊急支援用お米券寄贈】
- ・公益社団法人 札幌東法人会【通話録音装置及びつもり募金箱寄贈】
- ・江別消費者協会【緊急支援用食料寄贈】

基本計画3 ボランティア活動で進める地域支援

市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように様々な活動を支援し、地域福祉の担い手として活動する環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営（自主事業、市補助事業）

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	7 年度末	6 年度末	
団 体	69 団体 1,542 人	68 団体 1,502 人	1 団体 40 人
個 人	211 人	195 人	16 人
計	1,753 人	1,697 人	1 団体 56 人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設での行事やレクレーション支援、在宅高齢者への支援及び相談活動等に協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延 活 動 人 数		増 減
	7 年度	6 年度	
高齢者施設	648 人	2,242 人	△ 1,594 人
障がい者施設・団体	4 人	17 人	△ 13 人
在宅高齢者	2,520 人	1,165 人	1,355 人
在宅障がい者	65 人	128 人	△ 63 人
託児	46 人	13 人	33 人
子ども・地域食堂	307 人	139 人	168 人
児童・学校	45 人	68 人	△ 23 人
相談	120 人	125 人	△ 5 人
病院	0 人	0 人	0 人
その他	382 人	184 人	198 人
計	4,137 人	4,081 人	56 人

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】

・ 2, 5 2 3 人（登録ボランティア 1,375 人／愛のふれあい活動 585 人／自己加入者 563 人）

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

【団体への活動助成金】

・ 6 9 団体 1, 2 3 9, 0 0 0 円

【民間助成金団体】

- ・第49回 道新ボランティア奨励賞／1団体
「子ども食堂にこにこ広場」
- ・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金／9団体
「あじさい会」「ここから・江別」「夢一座」「江別更生保護女性会」「江別車いすボランティア整備」
「江別認知症の人の家族を支える会」「大麻夢太鼓」「地域ボランティア中央小おはなし屋」
「朗読ボランティアグループまちの灯」
- ・公益財団法人大和証券福祉財団 第32回ボランティア活動助成金／2団体
「大麻夢太鼓」「特定非営利活動法人恩おくり」

(2) ボランティア団体連絡会の運営（自主事業）

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し市民にお知らせしました。

【総会及び役員会】

- ・開催日 令和7年7月9日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター

(3) ボランティアの育成・確保（自主事業）

①ボランティア活動者研修会の開催

【ボランティア活動者研修会（団体）】

- ・開催日 令和8年1月27日（火）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 ・お笑い宅急便&マジック愛好会シルクハットによるミニ講座
・団体交流会
- ・参加人数 22名

【個人ボランティア活動者研修会】

- ・開催日 令和8年2月18日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 「第一印象アップ研修」
講師 印象アップアドバイザー 正木 よう子氏
- ・参加者数 20名

②傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 養成研修

- ・開催日 令和7年11月25日（火）、12月4日（木）、12月11日（木）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・参加人数 17人

イ) ステップアップ研修（全道傾聴フォーラムへの参加）

- ・開催日 令和7年11月29日（土）
- ・場 所 道民活動センター（かでる2．7）
- ・参加人数 16人 ※内1人はオンラインで参加

ウ) フォローアップ研修

- ・開催日 令和8年1月28日(水)
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 「相手の心に寄り添う傾聴」
講師 合同会社うえるかむ 池田 ひろみ氏
- ・参加人数 45人

エ) 活動実績(再掲)

7施設・8個人に対し、延べ472人(前年度比219人増)が活動しました。

(4) 悩みごとに関する相談支援(自主事業)

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】

江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】

30件(前年度比25件減)

基本計画4 包括的な相談・支援事業の実施

包括的な相談体制により、日常生活の問題や不安なことを幅広く受け止め、自立を目指したきめ細かい支援に努めました。

（１）生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

くらしサポートセンターえべつ（以下「くらすぽ」）では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明やブログでの情報発信など、事業周知活動にも努めました。

【相談支援実績】

新規相談件数 346件、支援延べ回数 2,567回、プラン作成件数 50件

【支援調整会議】

市所管課（健康福祉部管理課）担当職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらすぽ相談支援員により自立に向けたプランの確認や事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。／開催回数 22回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮状態にある相談者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関等が連携し情報共有を行うとともに、支援に必要な分野横断的なネットワークを構築するために平成28年度から継続開催しています。

今年度の会議は、くらしサポートセンターえべつからの事業報告と、それぞれの所属機関での現状や課題について情報共有を図りました。／開催回数 1回（29機関39人参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

また、市内の就労相談窓口の集約化に伴い、ワークサポートえべつが開設され、サテライト窓口の運用を開始したことにより、多様な就労相談に対応し、一人ひとりの状況に応じた就労支援を行う体制の強化につながりました。

- ・就労体験先等の開拓に向けて 企業など訪問数 5ヵ所

- ・無料職業紹介事業：求人登録数 1件、求職登録者数 0人、就労決定者数 0人

- ・江別市版中間的就労事業の実施：雇用契約を伴わない就労の形として、市内企業3社と協定を結びプログラム化。／開催回数 25回、延べ参加人数 54人、作業料 54,200円

※中間的就労：一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。／説明箇所数 8ヵ所

【居場所「シエスタ」の開催】

市内各領域の支援機関からの協力を得ながら、ひきこもり当事者とその家族が気兼ねなく参加できる居場所づくりに取り組みました。／開催回数 6回、延べ参加人数 148人

【ボードゲーム交流会の開催】

相談者や居場所シエスタ参加者が気軽に利用できる居場所・交流の場として月1回通年で開催しました。／開催回数 12回、延べ参加人数 69人

【家計支援実績】

家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。／実介入件数 新規 12件、延べ 111件、プラン作成件数 13件

【住居確保給付金】

離職や休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々への家賃相当額支給の相談窓口業務を行いました。

- ・実相談件数 25件、延相談件数 33件、支給決定件数 1件

【居住支援事業】

緊急的に住まいが必要な方の住まいを確保し、自立に向けた支援を行いました。

- ・利用実績：1世帯（3人家族）、利用期間 37日間

（2）日常生活自立支援事業の実施（道社協受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】

28件（新規2件 前年度比3件減）

【生活支援員登録者数】

34人（新規4人 前年度比3人増）

（3）成年後見制度に関する事業の実施（市受託事業、自主事業）

①成年後見支援センター（中核機関）の運営（市受託事業）

成年後見支援センターでは、制度の普及や利用促進に努めるとともに、被後見人等への支援や、後見制度を必要とする対象者の早期発見に向けて等、地域の関係機関や専門職団体と連携を取りながら事業を推進しました。

【相談支援実績など】

新規相談件数 178件、延べ相談件数 1,005件、延べ相談支援回数 775回、申立支援件数 36件、後見開始審判の市長申立要請 15件、受任調整会議 7回

【法定後見の法人後見】 29件（令和7年度受任件数 11件）

【任意後見の法人後見】 3件

【市民後見人個人受任】 5件（令和7年度受任件数 5件）

【市民後見人フォローアップ研修】

- ・第1回：令和7年6月18日（水） 参加者19人

「特殊詐欺、キャッシュレスって何？」

講師：SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 谷崎 大治郎 様

- ・第2回：令和7年8月28日（木）参加者21人、地域連携ネットワーク委員 6人

「成年後見制度等の動向について」講師：東京大学特任専門職員 東 啓二氏

「認知症を認知する」講師：北海道文教大学 教授 當瀬 規嗣氏

【普及啓発】

- ・社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信

・出前講座の実施：北翔大学実習生、札幌学院大学実習生、北星学園実習生、地域包括支援センター勉強会等

- ・地域向け講演会の開催：令和7年11月15日（土）於：江別市民会館 参加者 89人

「弁護士が成年後見制度を解説～これからの成年後見制度・権利擁護支援～」

講師：弁護士 山口 正之 氏

【関係機関との会議等】

中核機関運営会議（10回）、江別市成年後見制度利用促進協議会（2回）、地域連携ネットワーク協議会（1回）

【市民後見人養成講座】

- ・事前説明会：令和7年8月28日（木） 参加人数：33人
- ・養成講座：6日間実施し修了者19人

【登録管理】

- ・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施
- ・年度末登録者 市民後見人候補者 50人、後見支援員 50人

②法人後見事業の実施（自主事業）

法人後見事業を推進するにあたり、新規市民後見人候補者の法人後見支援員登録を進め、受任体制の強化を図りました。

（4）生活資金貸付事業の実施（道社協受託事業、自主事業）

生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸し付けを円滑に実施するため生活資金相談員を配置し、業務の推進に努めました。

また、新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を利用した方々からの償還免除や償還猶予の手続き並びに関連制度の照会等、増大する相談への対応に努めました。

【相談者件数】

区 分	7年度	6年度	増 減
生活福祉資金	126 延件	延 113 件	延 13 件
福 祉 金 庫	202 延件	延 235 件	延 △33 件
電 話	461 延件	延 325 件	延 136 件
計	789 延件	延 673 件	延 116 件

①生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	7年度	6年度	増 減
福 祉 費	4 件 1,880,000 円	3 件 1,268,000 円	1 件 612,000 円
教育支援資金	6 件 5,586,000 円	25 件 25,926,000 円	△19 件 △20,340,000 円
緊急小口資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
総合支援資金	0 件 0 円	1 件 360,000 円	△1 件 △360,000 円
計	10 件 7,466,000 円	29 件 27,554,000 円	△19 件 △20,088,000 円

②特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金（冬期生活資金）貸付事業」の取り扱い窓口業務を実施しました。

【貸付実績】

区 分	7年度	6年度	増 減
貸付件数	0 件	1 件	△1 件
貸付金額	0 円	50,000 円	△50,000 円

③福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	7 年度	6 年度	増 減
貸付件数	62 件	79 件	△17 件
貸付金額	2,337,000 円	2,860,000 円	△523,000 円

(5) 歳末見舞金贈呈事業の実施（自主事業）

令和7年12月、寄せられた歳末たすけあい募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。世帯当たりの贈呈額は昨年度と変更なく実施しました。

【見舞金の贈呈状況】

区 分	7 年度		6 年度		増 減	
	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額	世帯数	見舞金額
生活支援世帯	578世帯	1,603,000 円	634世帯	1,782,000 円	△56世帯	△179,000 円

基本計画5 安心した生活を支援する福祉サービスの実施

地域において支援を必要とする高齢者や障がいのある方が安心した生活を送れるように、各種福祉サービスの提供に努めました。

(1) 福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 令和7年11月1日～令和8年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口17,600円）

種 別	市からの助成金	利用者自己負担額	合 計
市・道民税非課税世帯	31,920 円	19,560 円	基本料金 51,480 円

【実施状況】

地 区	7 年度		6 年度		増 減 (A) - (B)
	利用世帯数 (A)	(A) の内、 新 規	利用世帯数 (B)	(B) の内、 新 規	
江 別	258世帯	21世帯	302世帯	48世帯	△44世帯
野 幌	337世帯	21世帯	417世帯	49世帯	△80世帯
大 麻	205世帯	18世帯	234世帯	25世帯	△29世帯
計	800世帯	60世帯	953世帯	122世帯	△153世帯

(2) 除雪サポーター派遣事業の実施（自主事業）

事業名称の変更（旧：除雪派遣サービス）とともに、対象年齢の引き上げ、利用料金・作業報酬のシーズン制への変更、利用料金コンビニ払いの導入、広報時期の早期繰上などの変更を加え、高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に除雪サポーターが玄関先から公道までの除雪を実施しました。

除雪サポーターは、江別市シルバー人材センターのほか、独自に個人・団体・企業の確保を行い、サービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数		
	7 年度	6 年度	増 減
江 別	47世帯	65世帯	△18世帯
野 幌	50世帯	57世帯	△7世帯
大 麻	46世帯	53世帯	△7世帯
計	143世帯	175世帯	△32世帯

(3) えべつ雪の処理情報誌の発信（自主事業）

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置しました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」とホームページに掲載しました。

【掲載事業者数】 26事業者掲載（△4事業者）

(4) 給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配達時に安否確認を行い、利用者の緊急時の対応を行いました。

【配食実績】

地区	利用数	高齢者世帯 (ひとり世帯)			高齢者世帯 (夫婦等世帯)			障がい者世帯 (ひとり世帯)			高齢者＋ 障がい者世帯			合 計		
		7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減	7年度	6年度	増減
江別	世帯数	33	40	△7	5	5	0	0	1	△1	0	0	0	38	46	△8
	食 数	33	40	△7	10	10	0	0	1	△1	0	0	0	43	51	△8
野幌	世帯数	37	31	6	4	4	0	3	2	1	1	0	1	45	37	8
	食 数	37	31	6	8	8	0	3	2	1	3	0	3	51	41	10
大麻	世帯数	29	34	△5	4	4	0	2	2	0	0	0	0	35	40	△5
	食 数	29	34	△5	8	8	0	2	2	0	0	0	0	39	44	△5
計	世帯数	99	105	△6	13	13	0	5	5	0	1	0	1	118	123	△5
	食 数	99	105	△6	26	26	0	5	5	0	3	0	3	133	136	△3

【年間配食実績】 33, 041食（前年度比5, 620食減） ※R6～38, 661食

(5) 障がい児・者移動支援事業の実施（自主事業）

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 14人 ガイドヘルプ利用者数 18人

【利用実績】

利 用 内 容	件 数		
	7年度	6年度	増 減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	86件	106件	△20件
医療機関への相談又は受診	99件	73件	26件
一般市民向けの各種行事への参加	9件	12件	△3件
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	74件	91件	△17件
その他の外出	105件	123件	△18件
計	373件	405件	△32件

(6) 福祉機器の貸与（自主事業）

①福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数	貸与件数（延貸与月数）		
		7年度	6年度	増 減
車椅子	124台	863件	1,020件	△153件
介護用手動ベッド	7台	60件	49件	11件
介護用電動ベッド	48台	401件	458件	△57件
歩行器	31台	130件	141件	△11件
計		1,454件	1,668件	△214件

②福祉ベルの設置

江別市緊急通報サービス事業の利用が困難な方を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区 分	江別地区	野幌地区	大麻地区	合 計
6年度までの設置数	4 件	4 件	2 件	10 件
7年度設置数	0 件	2 件	0 件	2 件
7年度返却数	0 件	1 件	0 件	1 件
計	4 件	5 件	2 件	11 件

(7) 北光保育園の運営（市補助事業）

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園を運営しました。

【保育児童数】

区分 保育所名	7年度年齢別保育児童数					6年度	増 減
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計		
児童数	3 人	5 人	5 人	4 人	17 人	17 人	0 人

基本計画6 学びの機会の提供による福祉意識の醸成

福祉のことに関心と理解を深めることが、地域福祉を継続的に推進する基盤となることから、体験学習・研修を通して福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催（自主事業）

自治会役員などを対象に、地域福祉活動に関する疑問や悩みへの情報提供、地域交流活動に活かせる取り組み事例の共有を行い、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修を開催しました。

- ・開催日 令和8年3月2日（月）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 講話「防災と減災のはなし」、段ボールベッド体験
講師 江別市役所 総務部 危機対策・防災担当 児玉 彰宏氏
- ・参加者数 33名（27自治会）

(2) 体験学習事業の実施（自主事業）

ワークキャンプ（福祉施設介護体験学習）の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、実際に福祉の現場を見て、知って、感じるキャリアビジョンを広げる機会として開催しました。

開 催 期 間	参加者数	場 所
令和7年8月6日（水）	4人	盲人養護老人ホーム 恵明園
8月7日（木）	7人	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
8月7日（木）	2人	老人保健施設 友愛ナーシングホーム
令和8年1月7日（水）	6人	盲人養護老人ホーム 恵明園
1月8日（木）	8人	特別養護老人ホーム 静苑ホーム
1月8日（木）	4人	老人保健施設 友愛ナーシングホーム
計	31人	

(3) いきいきシニアスクールの開催（自主事業）

シルバーウィーク行事の一環として、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に、江別市高齢者クラブ連合会との共催により開催しました。

- ・開催日 令和7年9月29日（月）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 「消費者被害の防止」
- ・講 師 江別消費者協会
- ・参加人数 45人

(4) 福祉学習への協力（自主事業）

体験用具や車いすの貸し出しなど、総合学習へ協力しました。また、大学の講義にて地域福祉やボランティアについて講話しました。

【総合的な学習】

- ・車椅子講話・体験 小学校5校
- ・疑似体験セット貸出 小学校7校 2団体
- ・アイマスク貸出 小学校2校 1団体

【地域講話】

- ・ソーシャルワーク演習 大学1校（2回）
- ・就業力特別演習 大学1校

基本計画7 地域に信頼される社協運営

組織のガバナンス強化や透明性の向上などに努め、地域福祉の推進役としての役割を発揮できるように、市民から信頼される運営に努めました。

(1) 組織体制の整備（自主事業）

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

①行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ・くらサポ相談支援員が、事業の進め方や相談内容等について支援調整会議を毎週開催し協議。
- ・江別市成年後見支援センターの運営状況、受任調整会議の開催内容、市長申立案件について協議。
- ・生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議。
- ・総合社会福祉センター改修箇所にかかる修繕費について協議。
- ・令和8年新年交礼会協賛。
- ・給食サービス事業者との業務委託料及び利用料の見直し

②部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

会 議 名	開催回数	開 催 年 月 日
合同（総務・地域福祉）部会	1回	令和7年11月12日（水）
広報編集委員会	4回	令和7年 6月 5日（木） 令和7年 9月 4日（木） 令和7年12月 4日（木） 令和8年 3月 5日（木）
福祉金庫管理委員会	1回	令和7年 6月 5日（木）
江別市成年後見支援センター 受任調整会議	7回	令和7年 4月11日（金） 令和7年 5月22日（木） 令和7年 6月11日（水） 令和7年 8月25日（月） 令和7年 9月19日（金） 令和7年12月10日（水） 令和8年 2月10日（月）

③役職員などの研修・資質向上

ア）役員・評議員研修の実施

本研修会は、社協役員・評議員に江別市社協の具体的な活動や役割を報告し、より深く社協活動への理解と関心を深めていただくことを目的とし、少子高齢化や孤立防止など、地域が抱える課題等に対して、社協がどのように地域と連携しながら地域福祉の推進に取り組んでいるかを共有し、今後の地域福祉のあり方をともに考える機会として実施しました。

- ・開催日 令和7年10月1日（水）
- ・場 所 総合社会福祉センター
- ・内 容 江別市社協の地域支援活動の取り組み
- ・説明者 江別市社協職員
- ・参加人数 25人

イ) 職員の資質向上

道社協主催研修会などに職員を派遣またはオンライン参加し、資質向上に努めました。

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
令和7年度災害ボランティアセンター設置・運営 訓練に係る説明会	令和7年5月21日	オンライン	2人
第180回市町村セミナー	令和7年6月13日	オンライン	1人
令和7年度 生活困窮者自立支援制度初任者研修	令和7年6月19日	札幌市	1人
どうねっと研修主任相談支援員のリバティールーム	令和7年6月20日	オンライン	1人
長寿社会における資産管理シンポジウム	令和7年6月21日	神奈川県	1人
支援ツール活用セミナー	令和7年6月27日	オンライン	1人
職業紹介責任者講習	令和7年7月4日	札幌市	1人
災害ボランティアセンターにおける kintone 運用 説明会	令和7年7月7日	オンライン	1人
令和7年度生活支援コーディネーター養成研修 (基礎編)	令和7年7月23日～24日	札幌市/ オンライン	1人
次世代リーダー育成研修	令和7年7月28日 ～令和8年2月24日 (全6回)	江別市	2人
どうねっとシンポジウム	令和7年8月1日	札幌市	1人
居住支援研修	令和7年9月9日	オンライン	1人
2025地域支え愛サミット	令和7年9月23日	札幌市	1人
どうねっと居住支援事業 説明会・情報交換会	令和7年9月29日	オンライン	1人
相談支援員初任者研修	令和7年10月6日～7日	東京都	1人
令和7年度支え合いをひろげる住民主体の生活 支援フォーラム	令和7年10月20日	オンライン	1人
どうねっと家計改善支援事業説明会・情報交換会	令和7年10月29日	札幌市	1人
第12回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	令和7年11月8日～9日	オンライン	1人
令和7年度生活支援・介護予防充実強化研修	令和7年11月12日	札幌市	1人
石狩管内生活支援コーディネーター情報交換会	令和7年11月21日	札幌市	1人
令和7年度石狩地区地域支え合い活動推進 セミナー	令和7年11月27日	札幌市	1人
居住支援事業支援員初任者研修	令和7年12月16日～17日	オンライン	1人
どうねっと特定被保護者支援 説明会	令和7年12月22日	札幌市	1人
令和7年度地域づくり加速化事業・ブロック別研修	令和7年12月25日	オンライン	1人
家事関係機関との連絡協議会	令和8年1月23日	オンライン	1人
生活困窮者自立支援制度人材養成研修	令和8年2月26日～27日	札幌市	1人
居住支援セミナー	令和8年3月7日	札幌市	1人
令和7年度第2回生活支援・介護予防充実強化研修	令和8年3月10日	オンライン	1人
シンポジウム 持続可能な地域コミュニティに 向けて	令和8年3月17日	札幌市	1人
家計相談に活かす動機づけ面接勉強会	令和8年3月23日	オンライン	1人

④人事評価の実施

職員の意欲・能力の向上や主体的な職務執行の動機付けを図るとともに、職員の業務や能力が公平かつ客観的に評価されるよう人事評価を実施しました。

(2) 財源基盤の整備（自主事業）

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	7 年度	6 年度	増 減	
第 1 種会員会費 (世帯会費)	36,788 世帯	37,317 世帯	△529 世帯	1 世帯 年額 300 円
第 2 種会員会費 (施設会費)	27 施設	27 施設	0 施設	50 人未満 5,000 円 50 人以上 7,000 円 100 人以上200 人未満 10,000 円
第 3 種会員会費 (団体会費)	115 団体	112 団体	3 団体	1 団体 3,000 円 ※ボランティア団体 は人数による
第 4 種会員会費 (特別会費)	695 個人・事業所	705 個人・事業所	△4 個人・事業所	1 口 1,000 円以上

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用しました。

【元金積立及び運用内訳】

	金 額	備 考
① 6 年度末残高	131,110,636 円	左記内訳（7 年度末） ・ 社債① 100,000,000 円 (98,237,000 円) ・ 社債② 10,000,000 円 ・ 定期預金 10,000,000 円 ・ 普通預金 10,605,742 円 合 計 130,605,742 円
② 6 年度事業に充当した額からの 戻入額	2,862,000 円	
③ 7 年度の寄付金額 ※寄付件数 6 6 件	1,558,106 円 (内、つもり寄付金 77,243 円)	
④ 7 年度事業への充当額	4,925,000 円	
7 年度末残高（①～③）－④	130,605,742 円	

【利息（普通預金）】

	金 額	備 考
① 6 年度末残高	6,879,253 円	
② 6 年度事業に充当した額からの 戻入額	1,659,000 円	
③ 7 年度内社債利息	2,374,000 円	・ 東電 2,283,000 円 ・ 北電 91,000 円
④ 7 年度内定期預金利息	2,773 円	
⑤ 7 年度内普通預金利息	31,590 円	・ 元金預金通帳 17,044 円 ・ 利息預金通帳 14,546 円
⑥ 7 年度事業への充当額	1,908,000 円	
7 年度末残高（①～⑥）－⑦	9,038,616 円	

③一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として寄付金を活用し、指定寄付の一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団からの10万円の寄付金は、ボランティア活動の推進に、江別市高齢者クラブ連合会（女性部）からの10万円の寄付金は、車いすの購入に活用しました。

【寄付取扱実績】 件数 27件、寄付金額 582,929円

④各種事業コストの検討

- ・給食サービス、福祉除雪サービス、除雪サポーター派遣事業の各利用料改定を実施しました。
- ・総合社会福祉センター使用料の令和8年度改定を決定しました。

（3）防災・災害対策の推進（自主事業）

社協災害対策計画等に基づき、万が一の時に備えた防災・災害対策を実施しました。

【災害ボランティアセンター研修会】

- ・開催日 令和8年2月25日（水）
- ・場 所 江別市総合社会福祉センター
- ・参加者 社協職員及び市職員（所管課、危機対策・防災担当）
- ・内 容 災害ボランティアセンターとICTの活用について
- ・講 師 北海道社会福祉協議会 市民活動推進担当課長 高橋修一 氏

【消防訓練】

- ・開催日 令和7年9月26日（金）、令和8年3月30日（月）
- ・参加者 総合社会福祉センター職員
- ・内 容 火災を想定した通報・初期消火訓練、ケガ人搬送訓練

【当別町災害ボランティア設置運営訓練への参加】

- ・開催日 令和7年10月6日（月）
- ・場 所 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」多目的ホール
- ・内 容 説明「災害ボランティアセンターについて」
訓練① ニーズ聞き取り訓練
訓練② 災害ボランティアセンター運営シミュレーション
- ・参加者 2名

（4）地域福祉実践計画の進行管理（自主事業）

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況を確認し、円滑な推進を図るため、6つの基本計画・48個別事業について令和6年度の事業評価を実施しました（当該年度の評価対象は46事業）。

その結果、個別事業は3点評価が40事業、4点評価が6事業となり、すべての事業が基準点である3点以上を確保しました。その結果、6基本計画いずれも3点の評価となり、計画全体として基準点を満たしました。これにより、令和6年度の事業は「予定通り推進された」と評価されました。

全体としては、生活困窮者自立支援事業および成年後見支援事業における相談支援分野で、相談内容の多様化に対応し、円滑な支援活動に努めた点が特に高く評価されました。

また、令和6年度をもって第4期地域福祉実践計画が終了したことから、5か年にわたる総合評価も実施しました。その結果、基本計画1の評価点が最も高く、特にコロナ禍の経済的困窮に関連する相談支援対応や貸付業務の取り組みが高く評価されました。

さらに、5年間を通しては、コロナの影響により一部の事業で実施困難な時期があったものの、各事業は可能な範囲で工夫しながら取り組みを継続し、地域福祉実践計画全体としては「概ね順調に推進された」ことが確認されました。

【令和6年度基本計画評価結果】

分 類	基本計画の主な内容と評価結果				
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援 5 4 3 2 1 [生活困窮者自立支援事業など12事業]				
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり 5 4 3 2 1 [ボランティア活動の基盤整備など5事業]				
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進 5 4 3 2 1 [愛のふれあい活動など5事業]				
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 5 4 3 2 1 [ワークキャンプの開催など5事業]				
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 5 4 3 2 1 [給食サービス事業など7事業]				
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり 5 4 3 2 1 [社会福祉基金の積立・運用など15事業]				

【第4期地域福祉実践計画（令和2年度～令和6年度）5か年全体の基本計画評価点】

分 類	基本計画の主な内容と評価結果	
基本計画1	地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援	3.36
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	3.00
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	3.05
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	3.14
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	3.17
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	3.09

（5）江別市避難行動要支援者個別避難計画の作成支援（市受託事業）

災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者等の避難行動要支援者の個別避難計画について作成支援しました。

業 務 内 容	件 数
個別避難計画作成に関する一式の発送業務	4件
個別避難計画作成業務	20件

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

①三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開催日		
令和7年 4月16日（木）	令和7年 5月28日（水）	令和7年 6月19日（木）
令和7年 7月11日（金）	令和7年 8月 8日（金）	令和7年 9月12日（金）
令和7年10月17日（金）	令和7年11月14日（金）	令和7年12月 5日（金）
令和8年 1月16日（金）	令和8年 2月 6日（金）	令和8年 3月 6日（金）

②理事会 5回

開催日		
令和7年 6月10日（火）	令和7年 6月25日（水）	令和7年10月10日（金）
令和7年12月17日（水）	令和8年 3月11日（水）	

③評議員会 3回

開催日		
令和7年 6月25日（水）	令和7年10月29日（水）	令和8年 3月25日（水）

④監事監査 4回

開催日		
令和7年 5月27日（火）	令和7年 8月29日（金）	令和7年12月 9日（火）
令和8年 3月 4日（水）		

⑤評議員選任・解任委員会 2回

開催日		
令和7年 6月16日（月）	令和8年 3月13日（金）	

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を顕彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者】

- ・表彰 17人、1団体
- ・感謝 5人、6団体・企業

(3) 研修事業・講習会などへの参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会

- ・開催日 令和7年8月28日（木）
- ・場 所 ZOOMミーティングによるオンライン実施
- ・参加者 1人
- ・内 容 ボラネットスキルアップ事業について
各市町村社協におけるボランティア活動の状況について等

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会

- ・開催日 令和7年9月29日（月）
- ・場 所 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」多目的ホール
- ・内 容 報告「当別町における防災に向けた活動について」
報告者 当別町社会福祉協議会 嵯峨 将史氏
講義「能登半島での災害ボランティア活動について」
講師 当別町総務部危機対策課危機対策係 主査 守屋 亮太氏
演習「DO はぐ体験」「段ボールベッド作成・体験」
講師 当別町危機対策課危機対策係
- ・参加者 社協職員1人、ボランティア団体連絡会役員3名

③安全運転管理者等講習

- ・開催日 令和7年6月13日（金）
- ・場 所 江別市民会館
- ・参加者 1人

（4）障がい児者団体等の作品展示・販売支援

障がい児者への理解を図ることを目的に、就労系の5事業所の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売支援をしました。

【販売商品】 ぼかし、固形石鹸、手芸品など

（5）福祉団体・ボランティア団体PRスライドショーの実施

ふれあい福祉の広場開催に併せ、スライドショーにより参画団体のPRを実施しました。

（6）社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 125,000円